

第19回 全国街路事業コンクール表彰事業一覧

賞の種類	事業名	表彰対象者 (応募者名)	都市名	事業主体
国土交通大臣賞	東京都市計画道路幹線街路 環状第8号線整備事業	東京都建設局	練馬区・板橋区	東京都
全国街路事業 促進協議会 会長賞	都市計画道路 鈴見新庄線 街路事業	石川県土木部 金沢市都市整備局	金沢市	石川県・金沢市
	街路平良駅通線整備事業	広島県廿日市市	廿日市市	廿日市市
優 秀 賞	JR山陽本線等加古川駅付近連続立体交差事業	兵庫県東播磨県民局	加古川市	兵庫県
	神戸新交通ポートアイランド線延伸・生田川右岸線	神戸市 神戸新交通株式会社	神戸市	神戸市 神戸新交通(株)
特 別 賞	室蘭圏都市計画道路3・4・114山下長和通 3・4・121長和農社通外2街路事業	北海道室蘭土木現業 所	伊達市	北海道
	弘前駅周辺整備事業(交通結節点環境改善)	青森県弘前市	弘前市	弘前市
	会津都市計画道路 亀賀門田線 整備事業	福島県土木部	会津若松市	福島県
	中村都市計画道路堤防廻線改良事業	高知県四万十市	四万十市	四万十市
	久留米都市計画都市高速鉄道 西鉄天神大牟田 線花畑駅付近連続立体交差事業	福岡県建築都市部	久留米市	福岡県
	大阪中央環状線(長吉長原東交差点)緊急ボトル ネック対策事業	大阪市建設局	大阪市	大阪市

特 別 賞

表彰事業名	弘前駅周辺整備事業（交通結節点環境改善）		
表彰対象者	青森県弘前市		
都市名	青森県弘前市	事業主体	青森県弘前市
事業概要	<p>弘前駅東側地区は、昭和40年代からの土地区画整理事業などにより宅地開発の進展、人口急増した地域であるが、東側に改札口遅れなく、バス・タクシーの増加、駅前駐輪場・JR東日本線での分断と、東側の地区の整備がなされ、交通拠点の拡充を図ったことにより、弘前駅周辺の利便性が向上し、駅前地区の活性化が図られたこと、また、観光客の増加や地元利用者も大幅に増加し、町の賑わいに大きく寄与した点が高く評価された。</p>		
表彰理由	<p>本事業の完成により、自由通路、駅舎などが整備され、東西の連絡性・利便性が飛躍的に向上したことや、駅舎のデザイン性に富んでいる点が高く評価された。また、観光客の増加や地元利用者も大幅に増加し、町の賑わいに大きく寄与した点について高く評価された。</p>		

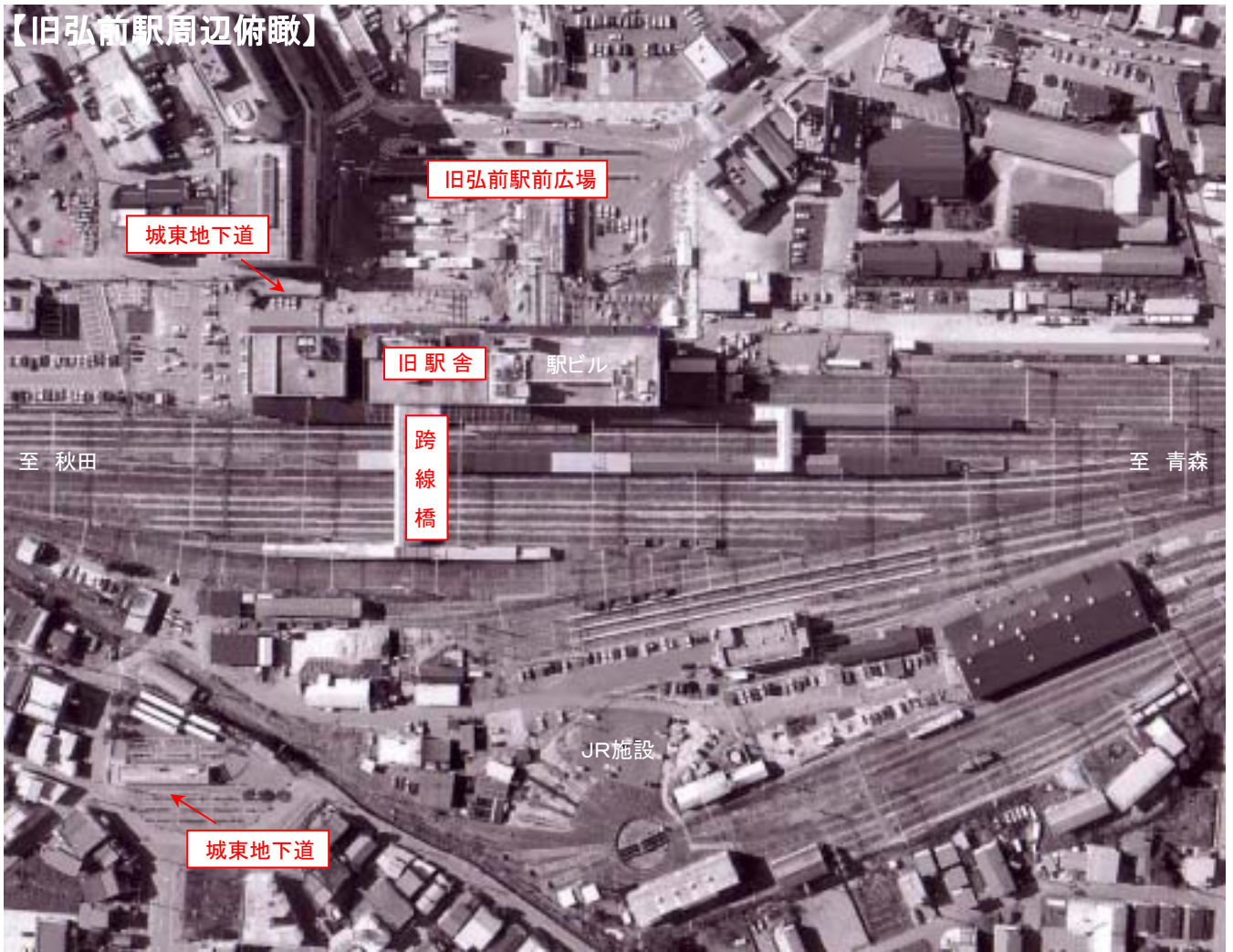
弘前駅東側地区は、昭和40年代からの土地区画整理事業などにより宅地開発の進展、人口急増した地域であるが、東側に改札口遅れなく、バス・タクシーの増加、駅前駐輪場・JR東日本線での分断と、東側の地区の整備がなされ、交通拠点の拡充を図ったことにより、弘前駅周辺の利便性が向上し、駅前地区の活性化が図られたこと、また、観光客の増加や地元利用者も大幅に増加し、町の賑わいに大きく寄与した点が高く評価された。

事業延長、幅員、面積：
 弘前駅自由通路 L = 80 m、W = 10 m
 JR東日本弘前駅（橋上駅舎） A = 1,600 m²
 弘南鉄道弘前駅 A = 170 m²
 都市計画道路3・4・31号城東中央福村線 L = 80 m、W = 16 m
 弘前駅城東口広場 A = 6,800 m²
 弘前駅城東口駐輪場 A = 2,400 m²
 弘前駅城東口駐車場 A = 4,300 m²
 弘前駅中央口駐車場 A = 2,200 m²
 総事業費：約72億円

事業前写真

平成10年3月撮影

【旧弘前駅周辺俯瞰】



平成10年3月撮影

平成10年3月撮影

【旧弘前駅前広場】



【旧弘前駅跨線橋】



平成10年3月撮影

【城東地下道】



事業後写真

平成17年7月撮影

【弘前駅周辺俯瞰】



平成17年7月撮影

【弘前駅城東口広場】



平成17年4月撮影

【弘前駅自由通路】



平成17年4月撮影

【弘前駅城東口全景】



弘前駅周辺整備事業の整備効果アピール資料①

○事業概要

事業名：弘前駅周辺整備事業

(交通結節点環境改善)

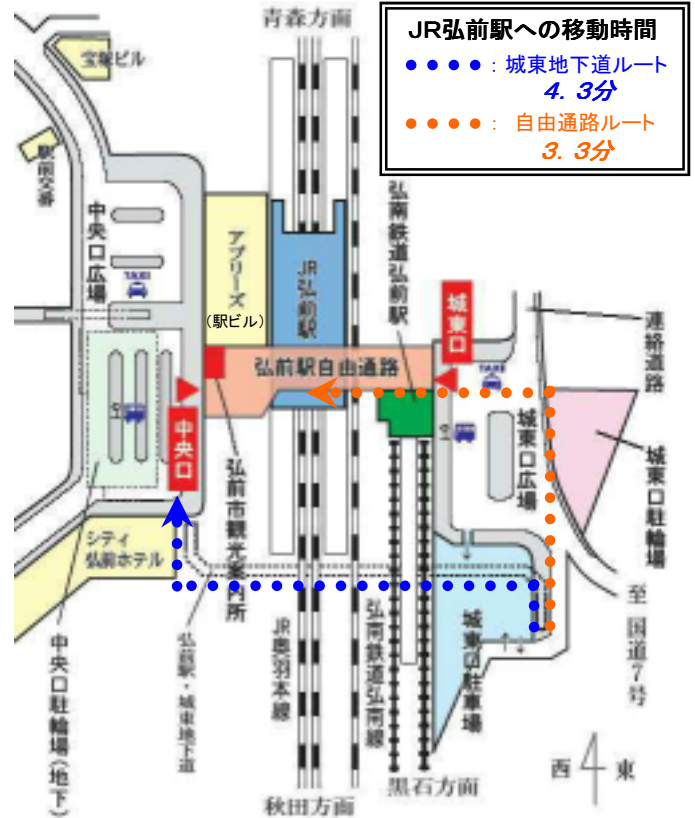
事業箇所：青森県弘前市表町

事業延長、幅員、面積：

- ・弘前駅自由通路 L=80m、W=10m
- ・JR東日本弘前駅 A=1,600m²
- ・弘南鉄道弘前駅 A=170m²
- ・都市計画道路3・4・31号城東中央福村線
L=80m、W=16m
- ・弘前駅城東口広場 A=6,800m²
- ・弘前駅城東口駐輪場 A=2,400m²
- ・弘前駅城東口駐車場 A=4,300m²
- ・弘前駅中央口駐車場 A=2,200m²

総事業費：約72億円

事業期間：H10～17年度



JR弘前駅への移動時間

- ：城東地下道ルート **4.3分**
- ：自由通路ルート **3.3分**

○歩行者通行量調査結果

供用前 平成 8年8月28日(平日)

供用後 平成17年9月16日(平日)

平成17年9月18日(休日)

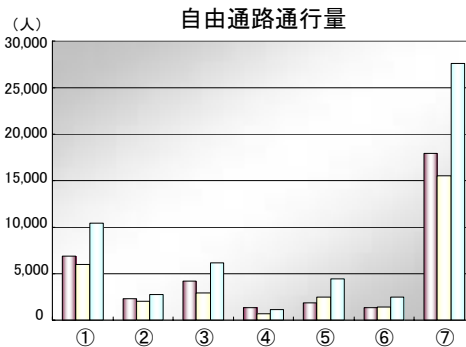
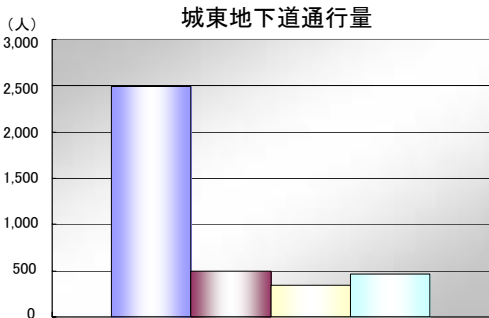
平成18年4月29日(大型連休)

<城東地下道通行量>

調査年月日	歩行者(人)			
	H8.8.28	H17.9.16	H17.9.18	H18.4.29
通行量	2,496	495	342	468

<自由通路通行量>

調査箇所	調査年月		
	H17.9.16	H17.9.18	H18.4.29
①中央口出入口	6,883	5,957	10,434
②城東口出入口	2,306	2,049	2,805
③JR改札口	4,188	2,903	6,188
④私鉄改札口	1,374	723	1,167
⑤駅ビル1F出入口	1,894	2,520	4,454
⑥駅ビル2F出入口	1,328	1,393	2,524
合計数	17,973	15,545	27,572



Legend for the bar charts:

- H8. 8. 28 (Blue)
- H17. 9. 16 (Red)
- H17. 9. 18 (Yellow)
- H18. 4. 29 (Cyan)

Legend for the table:

- ① 中央口出入口
- ② 城東口出入口
- ③ JR改札口
- ④ 私鉄改札口
- ⑤ 駅ビル1F出入口
- ⑥ 駅ビル2F出入口
- ⑦ 合計数

「整備効果」

- 東西の連絡性・利便性が飛躍的向上
東西の移動時間⇒約1分短縮
- 大幅な利用者増加、賑わい創出
城東地下道利用者の8割以上が利用
2,496人⇒342~495人
- 私鉄駅乗降客数が4%増加
- バス利用者が6%増加
- 隣接する駅ビルの売上が70%増加
- 駅周辺での犯罪行為や違法駐車減少
安全性が強化



事業前：H10.3



事業後：H18.3

弘前駅周辺整備事業の整備効果アピール資料②

○通年観光拠点としての波及効果UP

弘前市は、まち全体が「桜の弘前城」を中心に名所旧跡を住時のまま残し、緑濃い自然景観に恵まれた歴史的な趣があり、四季折々の季節感あふれる行事が訪れる観光客を魅了し、楽しませている。今回の弘前駅周辺整備により、県内外観光客の更なる増加が期待される。



○官民協働による整備計画・実施設計

①弘前市、JR東日本、弘南鉄道、駅ビルの関係4者間の基本協定

鉄道事業者との協議・調整を積極的に行い、隣接する駅ビルのリニューアル計画とも歩調をあわせ、事業を進めた。

②弘前駅周辺整備検討会議、ホームページや広報誌による民意の反映

商工会議所、弘前ハイヤー協会、障害者団体などの関係する23団体で構成する検討会議を開催し、整備計画などに意見を反映させた。また、ホームページや広報誌により、市民から広く意見を聴取し、民意の反映に努めた。

③コンサルタントコーディネーターによる設計審査

コンサルタントコーディネーターによる設計審査を実施し、デザイン、材料・素材、色彩、仕上げなどの専門的見地を積極的に取り入れ、弘前らしさを創出させた。また、鉄道事業者との積極的な協議により、コスト縮減に努め、施行性・工程なども入念に審査した。

④駅前広場の歩道融雪

交通バリアフリー法の観点から、積雪寒冷地であるため、駅前広場歩道部に融雪装置を設置し、冬期のバリアフリー化を図った。



コーディネーター設計審査



弘前駅周辺整備検討会議①



弘前駅周辺整備検討会議②



弘前駅自由通路外観



通路内壁面の美術工芸板



城東口広場歩道融雪状況